

## (2) 交通ネットワーク

### ー快適に利用できる交通ネットワークづくりー

#### ●背景●

- ・相鉄いずみ野線と市営地下鉄線により、公共交通の利便性が高い地域が多くありますが、鉄道駅から離れ、バスのルートや本数が少ないなどといった地域もあります。
- ・幹線道路\*の整備が遅れており、横浜伊勢原線などでの交通渋滞や生活道路に通過車両が流入していることで歩行者が安心して歩けないなどの課題もあります。
- ・高齢化の進展や環境への対応の視点から、公共交通の充実や円滑な道路ネットワークの形成への要望が高まっています。

#### ◎基本的な考え方◎

子ども、高齢者、障害児・者、外国人など区民誰もが、安心して、安全に、自立的に移動できるように、人や環境にやさしい、快適に利用できる交通ネットワークづくりを進めます。バスや鉄道などの公共交通利用を促進するとともに、徒歩や自転車、マイカーなど多様な交通手段を選択できる交通ネットワークづくりを進めます。

### 1) 公共交通ネットワーク

ア 区内の各所から15分以内で最寄りの鉄道駅に到達できることをめざし、効率的なバスネットワークの構築や円滑なバス交通などが可能となる幹線道路\*や地区幹線道路\*の整備を進めます。

イ 多くの区民が区内外の様々な場所に快適に移動できるように、鉄道やバス、自動車を連携する交通結節点の充実を図ります。駅前広場のない駅では、利便性の向上に向け駅前広場などの交通結節性を高める施設の整備を検討します。なお、整備にあたっては、バリアフリー\*化に配慮します。

### 2) 道路空間

ウ 鉄道駅周辺や商店街、学校やその他公共公益施設など、多くの人が集まる施設の周辺、近隣施設を結ぶ道路などでは、安全で歩きやすい快適な歩行空間を確保します。また、幹線道路\*や地区幹線道路\*における歩道整備や、歩道のバリアフリー\*化を進めます。

エ 誰もが安心して歩けるコミュニティゾーン\*を整備したり、沿道緑化を進めるなど、快適な歩行空間の形成を図ります。

### 3) 道路ネットワーク

オ 市内及び市外各地域との連携を強化し、市域の一体化を図るとともに、主要都市間の利便性を高めます。自動車専用道路の事業化については、市の計画と整合を図る必要があります。

カ 市内各地域間の連携を担う幹線道路\*については、環状3号線（平成22年度整備予定）、桂町戸塚遠藤線（平成22年度整備予定）、横浜伊勢原線（一部区間を除き平成18年度整備予定）、中田さちが丘線（平成17年度整備予定）、環状4号線（平成17年度整備予定）、権太坂和泉線（平成18年度整備予定）の整備を促進します。

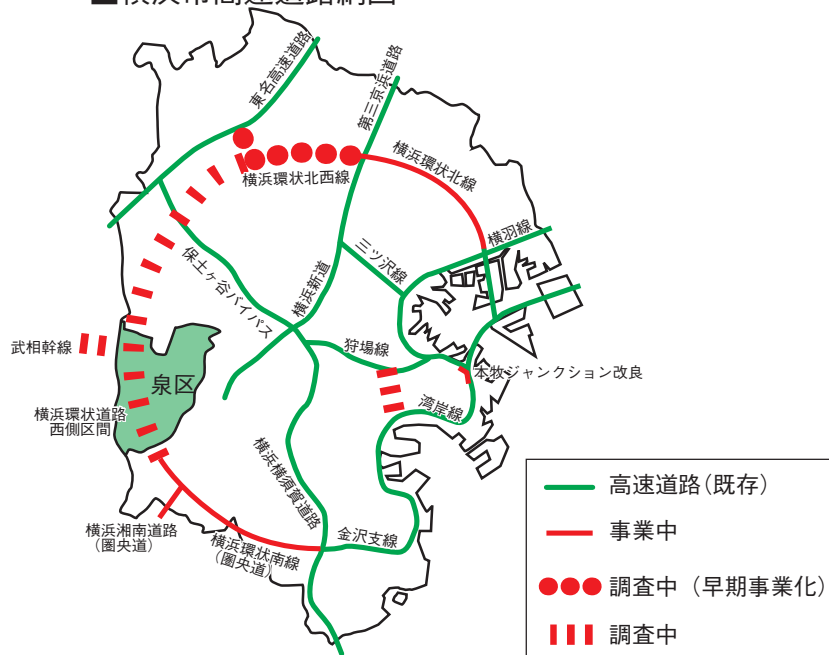
キ 住宅地や最寄りの駅、幹線道路\*を連絡する地区幹線道路\*の整備（交差点改良含む）については、幹線道路\*整備の時期を見ながら進めます。

ク 幹線道路\*や地区幹線道路\*沿いでは、うるおいのある沿道景観の形成とともに、排気ガスや騒音の軽減に向け、緑化及び緑化活動を進めます。

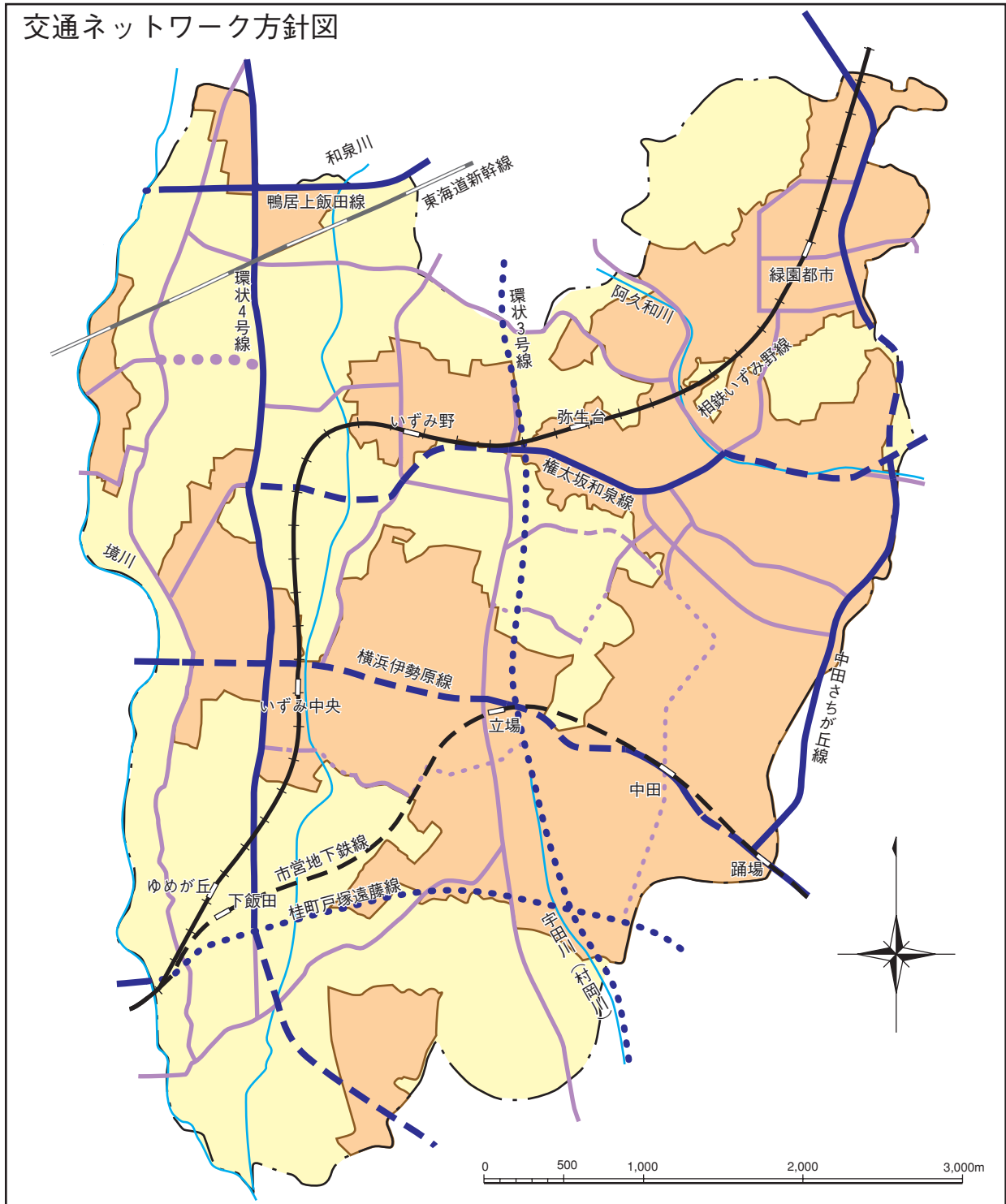
ケ 狭あいな生活道路\*については、地域の安全性と利便性を高めるよう、拡幅整備を進めます。

コ 鉄道駅や公共公益施設などにおける自転車駐車場の整備を進めます。

■横浜市高速道路網図



# 交通ネットワーク方針図



- |  |             |  |         |  |    |
|--|-------------|--|---------|--|----|
|  | 幹線道路（整備済）   |  | 市街化区域   |  | 鉄道 |
|  | 幹線道路（事業中）   |  | 市街化調整区域 |  | 河川 |
|  | 幹線道路（計画）    |  |         |  |    |
|  | 地区幹線道路（整備済） |  |         |  |    |
|  | 地区幹線道路（事業中） |  |         |  |    |
|  | 地区幹線道路（計画）  |  |         |  |    |
|  | 地区幹線道路（構想）  |  |         |  |    |